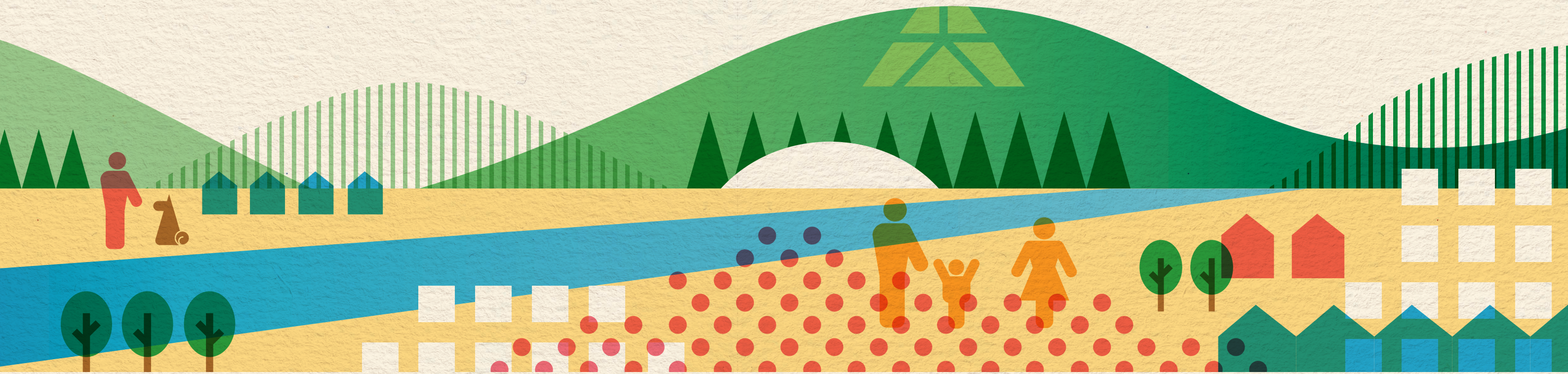


第2次 大館市住生活基本計画

～幸せな未来をみんなで創造する
暮らしの基本計画～

概要版



第2次大館市住生活基本計画

2021(令和3)年度～2032(令和14)年度

編集・発行 大館市 建設部 都市計画課

〒018-5792 秋田県大館市比内町扇田字新大堤下93番地6

TEL:0186-43-7084 / FAX:0186-55-1018

e-mail : eizen@city.odate.lg.jp

「住生活」とは、住宅や公共建築物等の“建築物”、道路や公園・上下水道等の“住環境”、福祉や買い物等の“日常生活”に関する視点が含まれます。

この計画は、各分野の目標像や実行計画と連携を図りながら、市民・民間事業者・行政等が手を取り合って、大館市における「幸せな未来や暮らしの創造」を目指すものです。

秋田県大館市
令和4年3月

住生活基本計画とは

計画の目的

大館市では、2009(平成21)年3月に「大館市住生活基本計画」を策定(2011(平成23)年3月改訂、2016(平成28)年1月第二次改訂)し、『まちと豊かな自然が調和した大館の住まいづくり』の実現を目指した住宅政策を推進してきましたが、2020(令和2)年度に目標年次を迎えました。

国や県の計画見直しや社会情勢等の変化に対応するため、住生活基本法に掲げられた基本理念に基づき、住宅施策を推進するための基本的計画として、「第2次大館市住生活基本計画」を策定します。

計画期間:概ね12カ年(今後も5年を目安として見直し)

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
基準年次						中間年次					目標年次
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度

対象区域:大館市の行政区域(91,322ha)

地域区分:6地域

- 大館東地域
- 大館西地域
- 大館南地域
- 大館北地域
- 田代地域
- 比内地域



社会情勢の変化

新型コロナウイルス感染症

- 日本も含め世界中に感染が拡大し、各国で感染防止に向けて人の動きを抑制する措置がとられるなど、経済面でも影響が出ている
- 生活様式や働き方は「新たな日常」の対応へ転換
- 住宅政策も大きな潮流の変化を踏まえた政策へ転換が必要



カーボンニュートラル(大館市ゼロカーボンシティ宣言)

- 近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界中で異常気象が発生し、自然災害が頻発、激甚化
- 2015年パリ協定、2018年IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告等による目標達成に向けた取組みが不可欠
- 120以上の国と地域が温室効果ガスの排出量をゼロにする「2050年カーボンニュートラル」の実現を表明
- 大館市は、2021(令和3)年2月に宣言

ウッドショック

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、世界的な木材の供給不足と価格高騰で「ウッドショック」が発生
- 輸入木材の代替として国産材製品の製品価格も上昇



1. 大館市の現況と政策動向

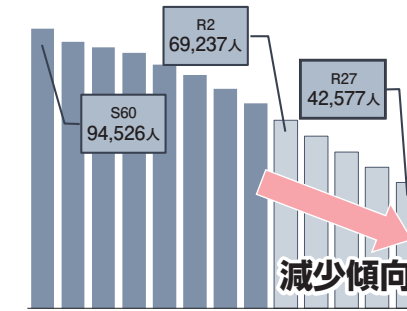
概況

- 2005年、比内町、田代町を編入合併し、「新大館市」が誕生
- 北東北3県の交通の要衝
- 森林資源が豊かで、秋田杉と優れた伝統工芸を創出
- 資源リサイクル産業の振興



人口

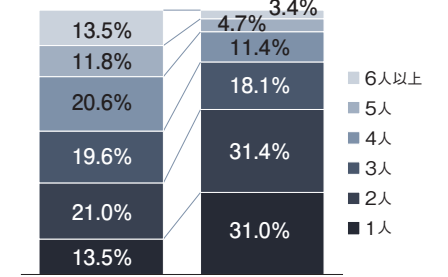
- 2020年は69,237人で、県北地域で最も人口の多い都市
- 減少傾向が続く見込みで、2045年には42,577人と推計
- 少子高齢化の傾向が顕著に



資料:国勢調査、社人研推計

世帯

- 総世帯数は増加傾向
- 1世帯当たりの人数は2.47人で年々減少傾向
- 1~2人世帯の割合が年々増加、全体の約6割
- 4~6人以上世帯は減少傾向



資料:国勢調査

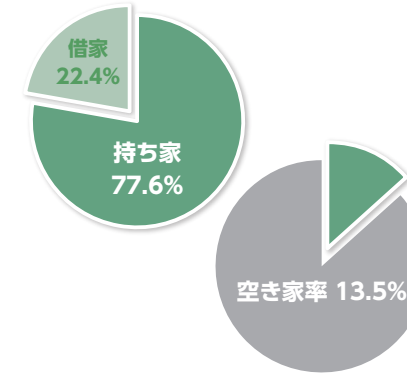
都市構造

- 骨格を形成する道路は国道7号、国道103号、国道285号
- 高速交通体系の確立が期待される日本海沿岸東北自動車道が事業中
- 鉄道はJR奥羽本線とJR花輪線
- 1998年、大館能代空港開港



住宅

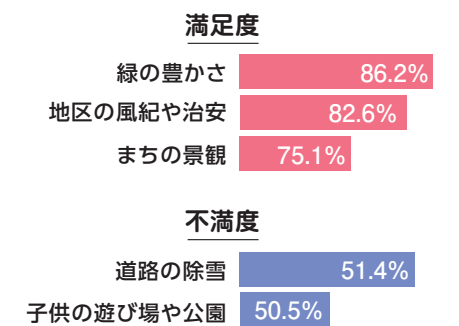
- 2018年の持ち家率が約8割
- 旧耐震基準の時期(昭和55年以前)に建てられた住宅は約3割
- 2018年の空き家率は13.5%



資料:国勢調査、住宅・土地統計調査

住環境

- 住宅の周辺環境の満足度は、「緑の豊かさ」「地区の風紀や治安」「まちなみの景観」が高い
- 不満度では、「道路の除雪」「子供の遊び場や公園」が高い



資料:市民アンケート調査結果

都市再興基本計画

- 「都市計画マスタープラン」「立地適正化計画」「地域公共交通網形成計画」の総称
- 街なか、集落、田園地帯等における方向性を定め、各地域が連携したまちづくりを推進するための計画
- 2019(平成31)年3月に策定

歴史的風致維持向上計画

- 「地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史的価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地環境」と定義
- 2017(平成29)年3月に認定

バリアフリーマスタープラン・バリアフリー基本構想

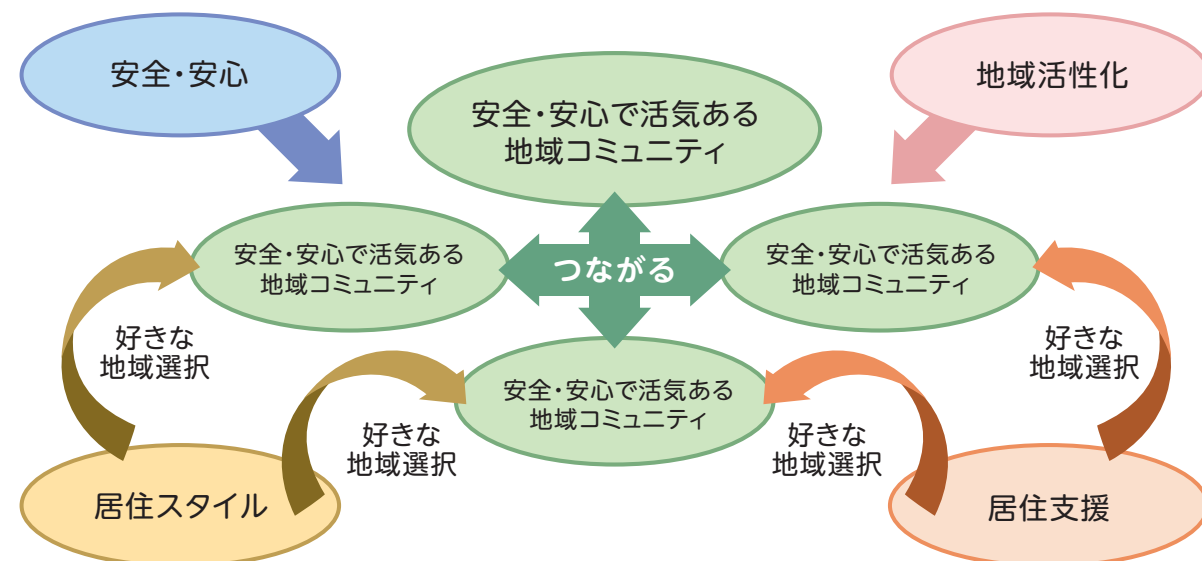
- 年齢・障害の有無に関わらず、自立した快適な生活や活動の実現に向け、施設の利用・移動上の安全性・利便性を確保する計画
- マスタープランは2021(令和3)年3月に策定、基本構想は2022(令和4)年3月に策定

2. 住まい・まちづくりの将来像

将来像



目指す都市像



住まい・まちづくりの目標

将来像と都市像を念頭に、住まい・まちづくりの目標を、以下のように設定します。

目標 1

安全・安心な住生活の実現
～住むなら安全で安心な住環境が良いな～



〈キーワード〉①防災・減災 ②環境保全 ③快適性 ④土地利用

頻発・激甚化する自然災害に対して**防災・減災**の視点に立ったしなやかな強さや、2050年カーボンニュートラルの達成を目指した**環境保全**に配慮し、雪国においても、住み慣れた地域や住宅で**快適**に長く住み続けられる、秩序ある**土地利用**や景観形成を推進するなど、安全で安心な住生活の実現を目指します。

目標 2

活気ある住生活の実現
～活気があって楽しいところが良いな～



〈キーワード〉①大館らしさ ②移住・定住(子育て支援) ③官民連携
④住生活産業 ⑤デジタル都市 ⑥木造都市景観 ⑦空き家・空き地

移住・定住により子育てしながら生活できる住環境や、伝統と木の良さが感じられる**木造都市景観**の形成、**空き地・空き家**の有効活用等に向けて、**デジタル技術・データ**を活用しながら、**官民連携**による長所を生かした**住生活産業**の振興を図り、**大館らしさ**が感じられる、活気がある住生活の実現を目指します。

目標 3

持続可能な生活圏の形成
～コンパクトで便利な街、小さな拠点が交通網で繋がれた街が良いな～



〈キーワード〉①コンパクトシティ ②交通網 ③小さな拠点

医療・福祉・商業等の都市機能が集まる都市機能誘導区域と、そのまわりで生活サービスやコミュニティが持続的に確保される居住誘導区域を定めた大館式**コンパクトシティ**(街なか)の実現を目指します。また、郊外部では豊かな田園景観と調和した**小さな拠点**化による集落生活圏の形成を図り、街なかと小さな拠点を**公共交通網**等でつなぐなど、持続可能な生活圏の形成を目指します。

目標 4

自由な居住スタイル選択の推進
～自分のライフスタイルに合った好きな地域に住みたいな～



〈キーワード〉①ライフスタイル ②住教育 ③情報・広報

住まい・住環境等に関する住文化への意識を高めるため、これまで取り組んできた木育やふるさとキャリア教育等を継続し、**住教育**を推進します。また、住宅性能や居住地等の選択肢を増やすことができる**情報・広報**の提供・共有による円滑な住宅市場の形成・誘導を推進し、自らの**ライフスタイル**に応じた、自由な居住スタイル選択の実現を目指します。

目標 5

重層的住宅セーフティネットの構築
～自由に選べない人も居住支援で好きな地域に住みたいな～



〈キーワード〉①共生社会・居住支援 ②福祉住環境整備 ③市営住宅整備

共生社会の実現に向けて、住宅政策と福祉施策や官民連携による**居住支援**を図るとともに、居住者目線の**福祉住環境**の整備を推進します。また、カーボンニュートラルの推進や住宅性能の可視化など質の高い**市営住宅整備**を推進し、官民が連携した重層的住宅セーフティネットの構築を目指します。

3. 将来像を実現するための施策展開

目標 1 安全・安心な住生活の実現

～住むなら安全で安心な住環境が良いな～

1 災害が発生しても持続可能なしなやかで強いまちづくり

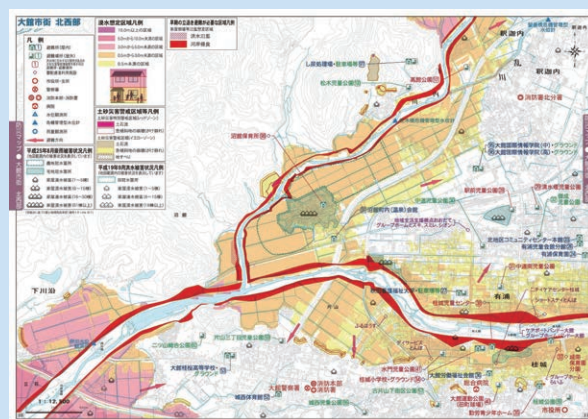


展開方針

○頻発・激甚化する自然災害に対して、市民一人ひとりの防災・減災に向けた意識の醸成や、水害・地震等の災害が発生しても持続可能で、速やかに日常生活に復帰できるしなやかな強さを持つ住環境の形成を推進します。

推進施策

- ①危険な地域を把握し、防災を推進
- ②住宅地の出水対策を推進
- ③歩行者の安全確保推進
- ④地震対策の推進
- ⑤災害発生時の迅速な住まいの確保



資料：大館市防災マップ
大館市街 北西部

2 環境に配慮した持続可能なまちづくり

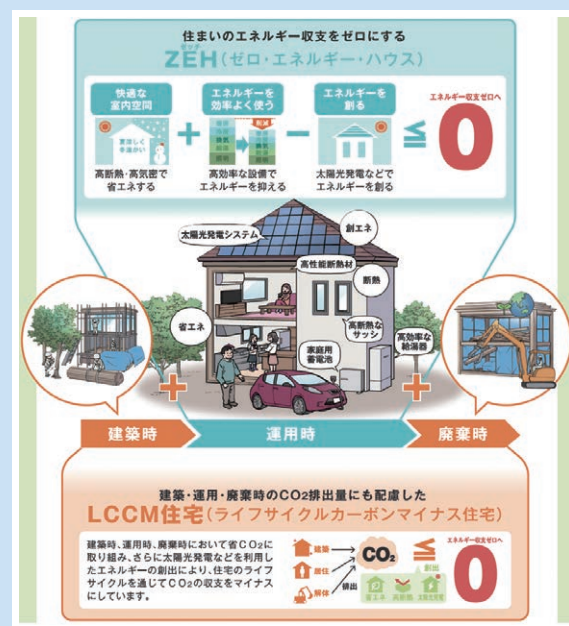


展開方針

○2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、普段私たちが暮らす住宅や職場などの建物から発生するCO2が多いため、様々な分野から総合的にカーボンニュートラルを推進します。

推進施策

- ①省エネルギーに配慮した住宅ストックの普及促進
- ②再生可能エネルギーの普及促進
- ③住宅・建築物の長寿命化推進
- ④木の良さを感じられるまちづくりを推進
- ⑤ライフサイクル及びエネルギー管理の可視化・効率化



資料：ZEH、LCCM住宅

3 便利で快適に暮らせる住環境整備



展開方針

○住み慣れた住宅で長く住み続けられる良質な住宅ストックの形成や、雪国でも暮らしやすくするため地域の実情に応じた都市公園の環境改善や道路の除雪等、快適に暮らせる住環境の整備を推進します。
○少子高齢化社会や2050カーボンニュートラルへの対応を鑑み、既存住宅のバリアフリー改修や断熱改修などの住宅の省エネ化への支援を検討します。

推進施策

- ①良質住環境・良質住宅ストックの形成
- ②都市公園の環境を改善
- ③雪国でも暮らしやすい住環境整備



子どもが楽しめるニツ山総合公園

4 歩車共存できる秩序ある土地利用



展開方針

○開発指導要綱に基づく事業者への指導や御成町南地区土地区画整理事業の施行を進めるなど、秩序ある土地利用や景観形成に向けた事業を推進します。

推進施策

- ①中心市街地の秩序ある土地利用推進
- ②無秩序な市街化を抑制



御成町南地区土地区画整理事業

目標 2 活気ある住生活の実現

～活気があって楽しいところが良いな～

1 住みたくなる魅力あふれる大館の実現



展開方針

- 住みたくなる魅力あふれる大館の実現に向けて、住宅や建築物等への地元産木材の活用を進めるとともに、それぞれのライフスタイルに応じて住宅が取得しやすい環境づくりを推進します。
- 高校や市内外の大学等と連携を図りながら、若いうちからまちづくりやまち育てに興味を持ってもらい、愛着づくりや大館らしい街なみ景観の形成を推進します。

推進施策

- 1 戸建て住宅を持ちやすい環境整備
- 2 地元産木材の住宅・建築物への活用推進
- 3 高校・大学との連携推進
- 4 大館らしい街なみづくりの推進



木造化・木質化を図った長木公民館

3 官民連携のまちづくり体制構築

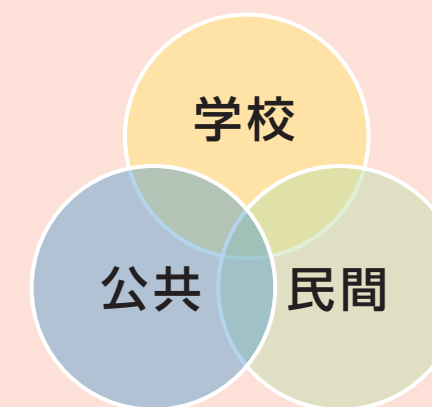


展開方針

- 官民がそれぞれの長所を生かしながら一体となったまちづくりの推進に向けて、まちづくり、福祉、防災、環境、エネルギー等の住生活に関係する様々な分野における、産・学・官や民間団体との連携を図りながら、活動の後方支援を行います。

推進施策

- 1 官・民それぞれの長所を生かしたまちづくりを推進
- 2 地域の意見を反映させたまちづくりを推進



産・学・官の連携するイメージ

2 若年層や移住者が住みやすい活気あるまちづくり



展開方針

- 樹海公園のパークセンターには、子育て支援を目的とした施設の整備が予定されています。子育て支援施設等と一体となった子育てしやすい住環境整備を推進します。
- 移住・定住には、住宅だけではなく、家計や暮らしを支える仕事が不可欠です。今後、商工業振興策等と連携を図りながら、総合的に方向性を検討するものとしてします。

推進施策

- 1 移住・定住しやすい住環境整備
- 2 子育て世帯の移住・定住推進



木育ひろば(市民交流センター)

4 住生活産業振興による地域活力の向上



展開方針

- 住生活産業の振興による地域活力の向上に向けて、PPP/PFIやプロポーザル方式等による民間活発的な活用・展開や、民間事業者との連携を図りながら住生活産業の振興を推進します。

推進施策

住生活産業の振興・発展



PFI事例(市営向町住宅)

目標 2 活気ある住生活の実現

～活気があって楽しいところが良いな～

5 デジタル技術・データを活用したまちづくり



展開方針

○大館らしいまちづくりや住生活を送るうえで、近年、**デジタル技術・データの活用**が身近なものとなり、**見える化**による分かりやすい説明が可能となってきました。統合型GISや都市計画基礎調査等を活用しながら、公共工事や住宅等への積極的な導入・普及の検討が求められます。「都市再興基本計画」における人口動向や都市機能・居住誘導区域に係るハザード、空き家や建築物のエネルギー管理、CO2の発生量等、他分野の様々な情報等と連携を図り施策を推進します。

推進施策

- 1 デジタル技術を活用したまちづくりの効率化・可視化
- 2 住生活産業におけるデジタル化の推進



6 日本の伝統と木の良さが感じられる木造都市景観づくり



展開方針

○日本の伝統と木の良さが感じられる木造都市の景観づくりに向けて、木育や住宅等の木造化・木質化等による身近な場所で木に触れる機会を増やし、**大館らしい景観形成**や後世に伝統技術を継承することが求められます。

推進施策

- 1 日本建築に触れやすい環境整備
- 2 木の良さが感じられるまちづくりを推進(再掲)
- 3 大館らしい街なみづくりの推進(再掲)



国登録有形文化財 桜櫓館(外観)

7 空き家・空き地を最大限に活用し、遊休不動産の解消



展開方針

○**空き家・空き地**をすべてなくすことは現実的に難しいと思われます。空き家対策に取り組む民間事業者や行政などが適切に空き家状況を把握し、**遊休不動産にさせない**取り組みが必要です。増加する空き家・空き地について、危険空き家の解体や空き家・空き地の利活用の推進、空き家が発生しない仕組みづくり、管理が行き届かない空き家の解消など、それぞれの段階に応じた適切な対応を講じ、住環境の質の向上や地域の活性化

化を目指します。また、民間事業者との連携を図り、空き家に関連する人材育成を推進します。
 ○防災分野では雪害、地震、風水害、土砂災害等の各種災害により被害が生じた又は被害が見込まれる空家住宅等の緊急的又は予防的な除却の促進を検討します。
 ○ランドバンク事業など効果的な土地利用を推進します。

推進施策

- 1 危険空き家の解消を促進
- 2 空き家・空き地の利活用を促進
- 3 空き家・空き地対策に取り組む人材育成
- 4 空き家・空き地の発生抑制

段階	展開の方法	主な対策
フェーズ1	○危険空き家の解消 (人命優先)	危険空き家の解体 →空き家の抑制へ
フェーズ2	○空き家・空き地の利活用を促進 (地域の財産として活用)	まちづくり →流通促進へ
フェーズ3	○空き家・空き地が発生しない仕組みづくり (空き家の抑制)	官民連携による対応 →人材育成へ
フェーズ4	○管理が行き届かない空き家・空き地の解消 (遊休不動産の解消)	官民の情報共有 →体制構築

空き地・空き家の段階的展開方向、対策

目標 3 持続可能な生活圏の形成

1 魅力あふれる街なかを形成し、誇れる大館式コンパクトシティの実現

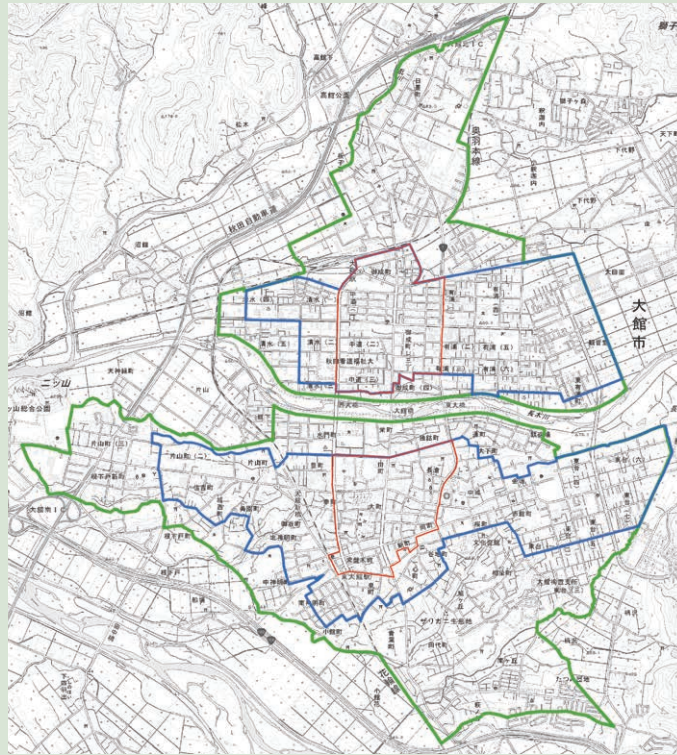


展開方針

○「立地適正化計画」では、“都市機能誘導区域”や“居住誘導区域”を定めています。都市機能誘導区域では医療・福祉・商業等の都市機能を誘導し、各種サービスの効率的な提供を図ります。そのまわりの居住誘導区域では、人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう居住の誘導を図ります。

推進施策

- ① 街なか居住の推進
- ② 中心市街地活性化施策との連携



誘導区域図（都市再興基本計画）

2 公共交通が機能したコンパクトシティの実現



展開方針

○公共交通が機能したコンパクトシティの実現に向けて、大館市では“中心拠点（大館の核）・中核拠点（比内・田代の核）”と、郊外部に点在する“地域拠点”とのネットワーク化を進めており、これらと連携した住環境整備を推進します。

○にぎわいの要となる大館駅前周辺については、駅舎の改築や交流拠点施設秋田犬の里を中心に、民間によるリノベーションや更新等も見られることから、広域的・拠点的な結節点として、更なる交通拠点としての整備を推進します。

～コンパクトで便利な街、小さな拠点が交通網で繋がれた街が良いな～

推進施策

- ① 公共交通施策と連携した住環境整備
- ② 駅前を起点とした賑わい再生
- ③ 歩行者の安全確保推進（再掲）



秋田犬の里

3 街なかや郊外部の小さな拠点化による集落生活圏の形成

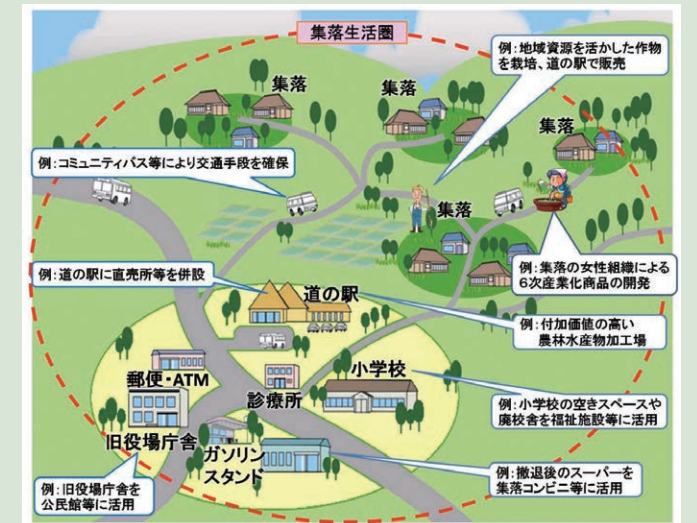


展開方針

- 街なかや郊外部の小さな拠点化による集落生活圏の形成に向けて、地域コミュニティの維持向上に関連する既往の事業を継続しながら、市民による主体的な地域づくりを支援します。
- 郊外地域においては、ゆったりとした居住空間の実現や居住機能の維持を目指し、地域産業と連携した住環境の整備を推進します。
- 充実した生活を送るためには地域産業を継続できる住環境が必要なため、農林業など地域産業を持続しやすい住環境を整備します。

推進施策

- ① 地域コミュニティの維持向上
- ② 小さな拠点の形成



「小さな拠点」づくりの取組イメージ

資料：地域生活を支える「小さな拠点」づくりの手引き

目標 4 自由な居住スタイル選択の実現

～自分のライフスタイルに合った好きな地域に住みたい～

1 ライフスタイルの変化に伴う自由な居住環境の選択

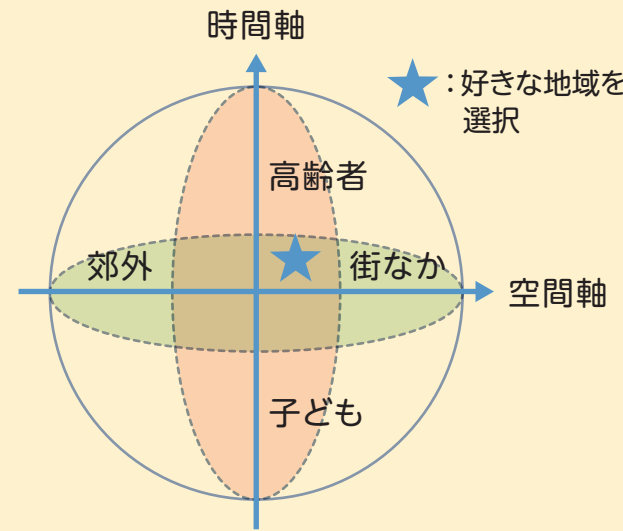


展開方針

○ライフスタイルの変化に伴う自由な居住環境の選択に向けて、住宅の性能や居住地等の選択肢を増やし、自らの家族構成や年齢、好みに応じて選ぶことができるような施策の検討を行います。

推進施策

- ①年齢や生活の変化による適切な住環境の選択推進
- ②中心市街地と郊外の環境に適した住環境選択推進



年齢変化による移り変わりや場所の選択によるイメージ

推進施策

- ①大館に住むということやまちづくりについて理解を深める
- ②ふるさとキャリア教育などと連携した住教育
- ③官民連携の人材育成の展開
- ④大館式リノベーションスクールの開催



シンポジウムの開催事例
「リノベーションまちづくりシンポジウム」



民間によるリノベーション事例
「わっぱビルディング」

2 住まいやまちづくりなどを知り、大館市への愛着と誇りを育成



展開方針

○大館市でこれまでに取り組んできた“木育”や“ふるさとキャリア教育”、“出前講座”などを継続し、住教育への展開やまちづくり政策の周知等を進めることで、大館市に対する市民の更なる愛着と誇りの醸成を目指します。

○一定のエリアを対象にして空き家や空き地等の活用を推進するリノベーションスクールについて、大館市において実行可能な方法を民間事業者と模索しながら、「大館式リノベーションスクール」の開催を目指します。

3 住宅関連情報の提供・共有による円滑な住宅市場の形成と誘導

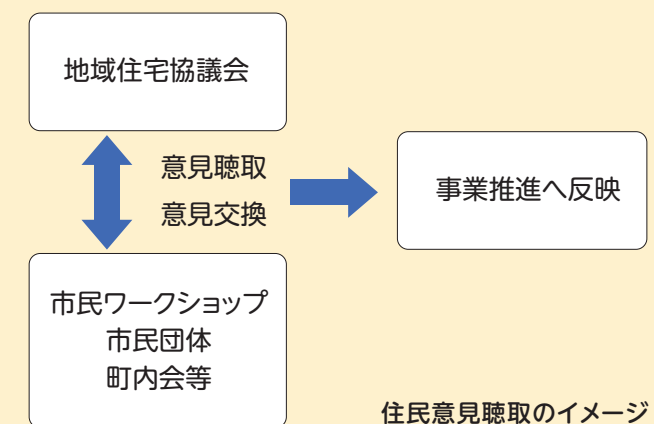


展開方針

- 大館市における住宅関連情報の提供・共有による円滑な住宅市場の形成と誘導に向けて、住宅に関する情報の発信と住民意見の反映の取組みを推進します。
- 刻々と変化する社会情勢の中、より充実した取組みができるように、常に新しい情報を取り入れ、柔軟な対応ができる情報ネットワークの構築を図ります。

推進施策

- ①情報の発信と住民意見の反映の取組み推進
- ②調査・研究の推進と情報ネットワークの構築



目標 5 重層的住宅セーフティネットの構築

～自由に選べない人も居住支援で好きな地域に住みたい～

1 住宅・福祉の官民連携による共生社会の実現



2 居住者目線の福祉住環境整備



展開方針

- 共生社会の実現に向けて、住宅政策と福祉施策による更なる連携を図るとともに、福祉住環境の普及を目指した民間事業者と連携した総合的な居住支援の検討・実行を推進します。

推進施策

- 1 住宅確保要配慮者居住支援協議会の設立
- 2 住宅政策の居住支援政策への発展・推進
- 3 福祉と住環境に精通した人材育成
- 4 他分野と連携した居住支援の展開

展開方針

- 民間住宅に入りやすい環境整備や制度の構築、バリアフリーに配慮した居住者目線の福祉住環境整備を推進します。

推進施策

- 1 福祉住環境整備推進
- 2 福祉機能がある住宅の整備推進
- 3 民間住宅への入居円滑化・推進
- 4 高齢者住宅や市営住宅へのIoTを活用した見守り



整備例：手すりの設置
【高齢者等配慮対策等級3】(市営大森野住宅)

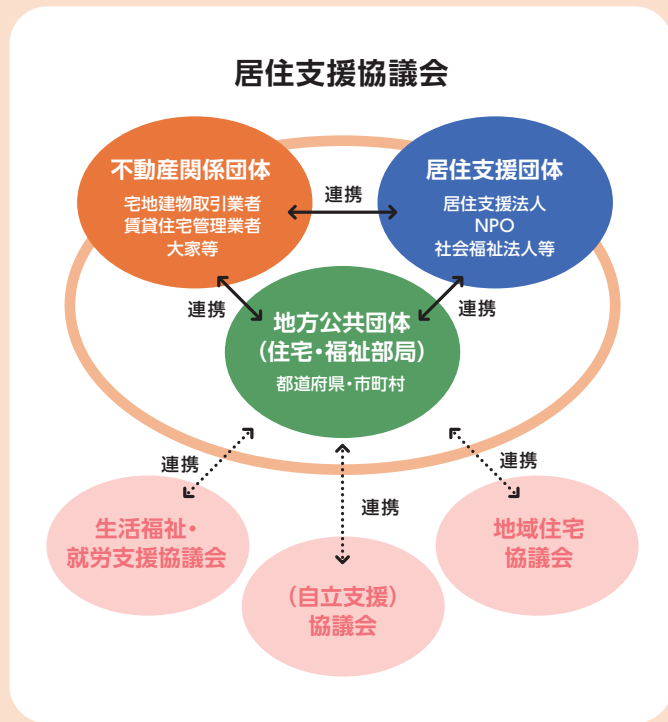
■背景(制度の3つの柱)

- 住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度
- 登録住宅の改修・入居への経済的支援
- 住宅確保要配慮者のマッチング・入居支援

■概要

居住支援協議会とは、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅等への円滑な入居の促進を図るために、地方公共団体、不動産関係団体、居住支援団体等が連携して設立する協議会です。

住宅確保要配慮者、民間賃貸住宅の大家等の双方に、住宅情報の提供等の支援を行います。



居住支援協議会のイメージ

3 市営住宅の良質ストック整備



展開方針

- 良質な市営住宅整備に向けたカーボンニュートラルへの取り組みや、住宅性能の可視化など積極的に展開し、居住環境の改善を積極的に図るとともに、民間住宅への波及を目指します。

推進施策

- 1 環境に配慮した市営住宅整備推進
- 2 居住環境を改善し、安全・安心な市営住宅整備推進



老朽化市営住宅の建替え(市営大森野住宅)

4. 地域別住宅施策の基本方針と展開方向

地域別の住宅施策については、大館市を6つの地域に分類し、地域の現状や課題等の特徴を踏まえた将来像を次のように設定します。

田代地域の将来像

自然の恵み、磨き上げた魅力と共生する住環境づくり

- 特徴** 地域の魅力発信
- 方針** 地域コミュニティと連携した住環境整備




十ノ瀬 藤の郷

大館西地域の将来像

豊かな自然に包まれ、田園景観や工業団地と共生する住環境づくり

- 特徴** 企業誘致
- 方針** 商工業振興と連携した住環境整備



二井田地区工業団地

比内地域の将来像

豊かな大地で育つ地域資源と共生する住環境づくり

- 特徴** 比内地域ブランド
- 方針** 地域の良さを生かした住環境整備



扇田駅



大館北地域の将来像

豊かな自然景観、新たな産業と共生する住環境づくり

- 特徴** 企業誘致
- 方針** 商工業振興と連携した住環境整備



釈迦内パーキングエリア

大館東地域の将来像

歴史や文化、都市機能を活かし、みんなが暮らしたくなる住環境づくり

- 特徴** コンパクトシティ、歴史まちづくり
- 方針** 住みたくなる中心市街地の形成



新庁舎と桂城公園



JR大館駅

大館南地域の将来像

農業と共に、元気で安心して暮らせる住環境づくり

- 特徴** 地域農業
- 方針** 地域農業等と連携した住環境整備



農業体験

5. 計画実現に向けて

計画の推進体制

実行計画の策定・推進

「大館市住生活基本計画」の推進施策は、まちづくり、福祉、防災、環境・エネルギーなど多岐にわたります。本計画の将来像を達成するため、各分野で策定された実行計画の着実な推進を目指します。主な実行計画の目標は次の通りです。

大館市耐震改修促進計画

項目 (耐震化率)	現状値 令和2年度	目標値 令和7年度
住宅	83.6%	95%
公共建築物 (特定建築物)	98.6%	100%

大館市空家等対策計画

今後も空家等の増加が予想されるため、大館市の本計画は、「空家等の発生抑制」に重点をおく考え方とします。

【建物の状態】 利用中 → 空き家化 → 管理不全

【対策】 空家等の発生抑制 → 空家等の適正管理 → 空家等の利活用の促進 → 管理不全な空家等の解消

第2次大館市公営住宅等長寿命化計画(策定中) 基準年月日:令和3.4.1

事業手法	対象住宅	基準年次における 管理戸数	目標年次における 目標管理戸数
維持管理	大町借上、新町、中町、向町、大森野、南町①、みどり、大谷地、中島	259戸	259戸
改善	全面的改善 水門前、狐台、第2獅子ヶ森、谷地の平	209戸	209戸
	個別改善 前田、南町②、大谷地(特公賃)、早口・第2早口(定住化促進)		
建替	御成町、餅田、片山、第1獅子ヶ森	286戸	230戸
用途廃止	根井下(解体中)、長森	39戸	0戸
市管理計		793戸	698戸
うち市営(セーフティネット)		729戸	634戸

法定点検の対象となる住棟は点検を、「維持管理」や「改善」とした住宅では計画修繕を実施します。「建替」と判定された住宅等は、事業量の平準化や、集約化・再編の推進、地域ニーズに応じた施設の導入検討、官民連携の促進等に配慮し、建替事業を計画的に推進します。

社会資本総合整備計画(第三期地域住宅計画(秋田県大館地域))

項目	現状値 令和3年度	目標値 令和7年度
長寿命化型改善が実施された市営住宅団地の割合	25%	75%
倒壊や建築材の飛散などの危険があり、解体などの緊急度が極めて高い空き家の戸数割合	9%	6%
居住誘導区域内の人口密度の維持	32人/ha	32人/ha

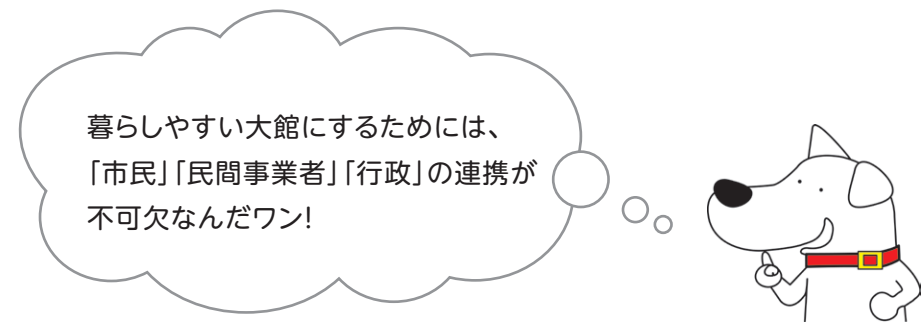
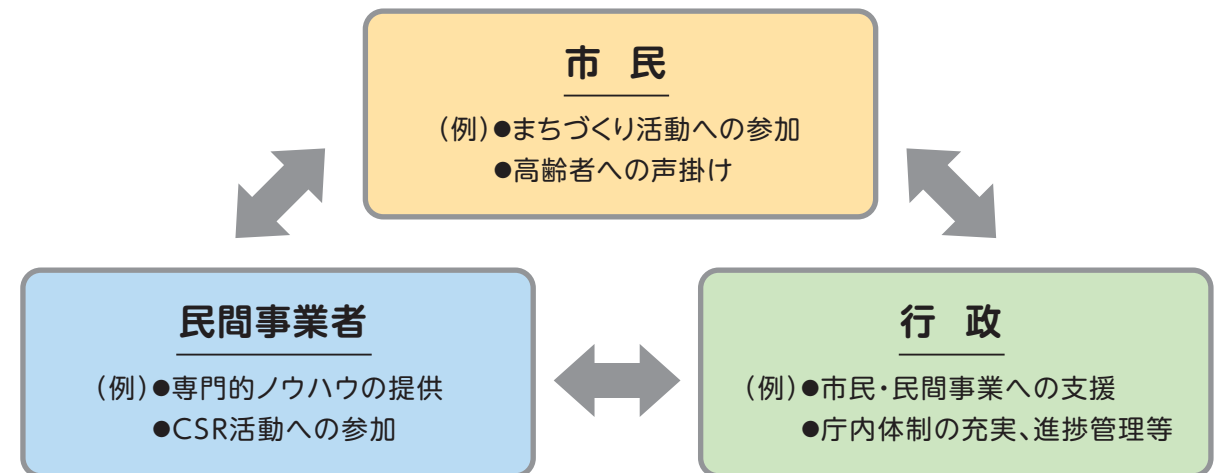
市内推進体制の構築

「大館市住生活基本計画」は、市民生活と密接に関わるまちづくりや福祉、防災、環境・エネルギー等の広範な分野との緊密な連携を図り、各種施策を総合的かつ計画的に展開することが必要です。そのため、市内での横断的な推進体制を構築し、本計画の実現を目指して取り組みます。

市民・民間事業者・行政との連携

「大館市住生活基本計画」は、行政による施策展開だけでなく、市民や民間事業者、各種団体等の主体的な取り組みが不可欠であることから、相互に連携を図りながら協力して推進します。

- 市民等に期待される役割
 - 住まい・まちづくり意識の向上(住情報の受信、まちづくり活動等への参加 等)
 - 自分にできることの実現(近所の高齢者への声かけ、住まいのメンテナンス 等)
- 住生活関連民間事業者の役割
 - 住まい・まちづくりへの貢献(事業活動を通じた専門的ノウハウの提供・発信 等)
 - サービス提供主体として活動(地域活動への参加、住民や行政等との協働 等)
- 行政の役割
 - 住まい・まちづくり活動の支援(市民・民間事業者への支援、人材発掘・育成 等)
 - 計画策定・進捗管理、市内体制の充実、国・県・周辺市町村との連携・協力 等

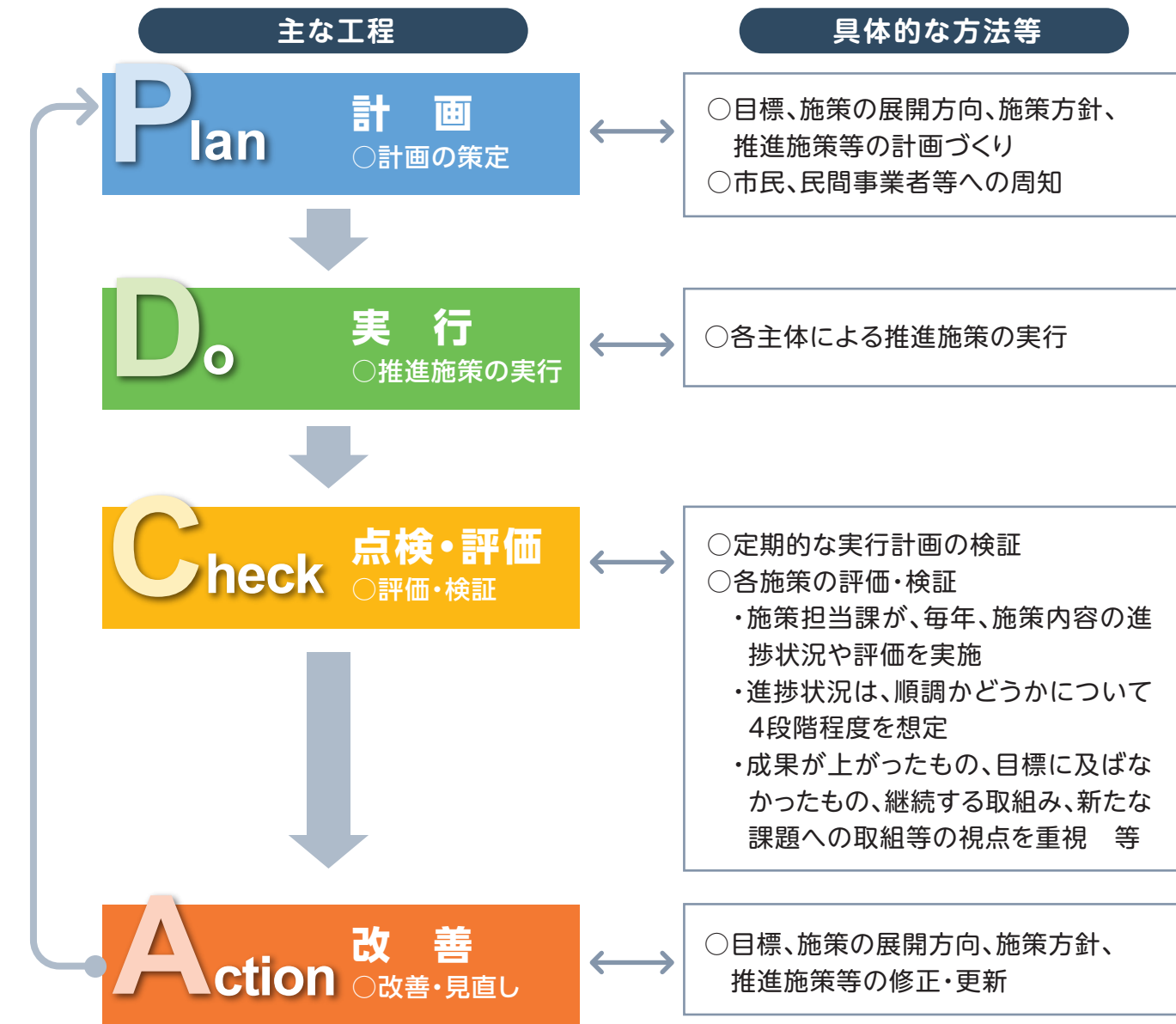


計画の進捗管理

進捗管理

住宅政策に関するまちづくり、福祉、環境、産業などの庁内横断組織等や地域住宅協議会を設置し、定期的な進捗管理を行います。

また、施策展開で掲げた推進施策や具体的な取組みの確実な進行に向けて、PDCAサイクルに基づき、毎年、成果指標の評価・検証を行いながら、検証結果を改善につなげ、必要に応じて見直しを行いながら、効果的な施策の実施に向けて計画的に取組みを進めます。



成果指標の設定

3. 「将来像を実現するための施策展開」で掲げた具体的な取組みの確実な進行に向けて、特に重要な取組みについては、実行計画などを参考に目標値を設定し、進行管理を行います。

指標	現状値	目標値	上位・関連計画
目標 1 安全・安心な住生活の実現			
指標① 住宅の耐震化率 (住宅・土地統計調査推計)	2021 (R3) 年 83.6%	2032 (R14) 年 98.0%	耐震改修促進計画
指標② 環境に配慮した住宅割合 ※新規実行計画により詳細検討	2021 (R3) 年 未把握	2032 (R14) 年 要検討	環境基本計画等
目標 2 活気ある住生活の実現			
指標③ 地域住宅協議会の設立	2021 (R3) 年 未設立	2027 (R9) 年 設立	
指標④ 空き家率 (住宅・土地統計調査推計)	2018 (H30) 年 13.5%	2028 (R10) 年 10.0%	空家等対策計画
目標 3 持続可能な生活圏の形成			
指標⑤ 居住誘導区域内人口密度	2017 (H29) 年 32人/ha	2027 (R9) 年 32人/ha	都市再興基本計画
指標⑥ 路線バス平均乗車密度の維持	2017 (H29) 年 2.7人	2027 (R9) 年 2.7人	都市再興基本計画
目標 4 自由な居住スタイル選択の実現			
指標⑦ リノベーションスクールの開催	2021 (R3) 年 未開催	2032 (R14) 年 年1回以上の定期開催	
指標⑧ 住環境に関するセミナーや相談会の開催	2021 (R3) 年 未開催	2032 (R14) 年 年1回以上の定期開催	
目標 5 重層的住宅セーフティネットの構築			
指標⑨ 居住支援協議会の設立	2021 (R3) 年 未設立	2027 (R9) 年 設立	
指標⑩ 市営住宅老朽化率 (耐用年限を超過した住宅)	2021 (R3) 年 44.6%	2032 (R14) 年 25.6%	公営住宅等長寿命化計画 地域住宅計画